

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
 (仮称)綾部大家族の湯

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)201  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.20					<b>3.0</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40					
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40					
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.83					
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.17					
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-					
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-					
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.40					<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50					
2.1.1 室温		3.0	0.44					
2.1.2 窓の遮熱・断熱性能								
2.1.3 外皮性能		3.0	0.21					
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
2.1.5 遮熱・断熱性能								
2.1.6 遮熱性能								
2.1.7 換気外気調対する配慮								
2.1.8 室温の表示								
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20					
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>4.1</b>	0.10					<b>4.1</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.50					
3.1.1 昼光率	別紙参照 昼光率=9.0%	5.0	0.60					
3.1.2 方位別開口								
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.50					
3.2.1 遮光性能								
3.2.2 昼光制御	ブラインド・庇付	4.0	1.00					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		-	-					
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.0</b>	0.30					<b>4.0</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50					
4.1.1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面に使用	5.0	1.00					
4.1.2 放射能汚染物質								
4.1.3 臭気								
4.1.4 有害物質								
4.2 換気		<b>3.1</b>	0.30					
4.2.1 換気量		3.0	0.43					
4.2.2 自然換気性能	別紙参照 開口有効面積=居室床面積x1/13	4.0	0.15					
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.43					
4.2.4 換気設備								
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20					
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
4.3.2 喫煙の制御		3.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30					<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.9</b>	0.40					<b>3.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40					
1.1.1 広さ・収納性		3.0	0.16					
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-					
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	0.84					
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30					
1.2.1 広さ感・景観		-	-					
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-					
1.2.3 内装計画	別紙参照(コンセプト立案・天然素材利用・照明夜景計画)	5.0	1.00					
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	記入表参照(内外装仕上げの耐久性に配慮している)	4.0	0.50					
1.3.2 維持管理用機能の確保	記入表参照(清掃面での配慮を入念に行っている)	4.0	0.50					
1.3.3 衛生管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31					<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48					
2.1.1 耐震性		3.0	0.80					
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.33					
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.4</b>	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	記入表参照(節水型器具の採用、温泉水利用)	4.0	0.20		-	
3	電気設備	記入表参照(非常用発電機設置・浸水対策を施している)	4.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.29		-	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.4</b>	0.31		-	
1	階高のゆとり	断面図参照(主要階高は4.0m)	5.0	0.25		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.75		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.31		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.34		-	<b>4.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		別紙参照(外構緑化・敷地内自然の保全)	<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		別紙参照(地域景観への配慮・自然素材、自然緑地)	<b>5.0</b>	0.40		-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>4.0</b>	0.30		-	<b>4.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	別紙参照(内外空間の連続、中間領域のアメニティ形成)	<b>4.0</b>	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	別紙参照(緑化による御熱環境性能の向上)	<b>4.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>3.8</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>			<b>2.8</b>	0.18		-	<b>2.8</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.5</b>	0.24		-	<b>3.5</b>
2.1	自然エネルギーの直接利用	記入表参照(トップライトによる自然光活用)	<b>4.0</b>	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		高効率照明、無駄のない換気計画、給湯保温性能の確保	<b>4.6</b>	0.35		-	<b>4.6</b>
3a	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		4.6			-	
3b	集合住宅の評価					-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>4.0</b>	0.24		-	<b>4.0</b>
4.1	モニタリング		<b>3.0</b>	0.50		-	
4.2	運用管理体制	年間のランニングコスト算出済み	<b>5.0</b>	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.15		-	<b>3.4</b>
1.1	節水	節水器具の採用、温泉水利用	<b>4.0</b>	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.2</b>	0.63		-	<b>3.2</b>
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	記入表参照	4.0	0.24		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.22		-	<b>3.0</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.8</b>	0.33		-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
2.1	大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	記入表参照(駐車場の確保)	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
<b>3.2 風害、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	